

卓越した技能者「現代の名工」を受賞

2016年度の卓越した技能者「現代の名工」を受賞した福田 紀夫さんの表彰式が2016年11月21日（月）に明治記念館（東京都港区）で行われました。（当社からは3人目の受賞）

「現代の名工」とは、各分野で第一人者と目されている技能者を表彰する制度で、技能者の地位と技能水準の向上を図るとともに、青少年の技能に対する意欲・興味を喚起させ、次世代の技能者育成を活性化することを目的としています。

福田さんは1960年入社以来、製缶工として国内外のプラント建設に従事し、モジュールの製作においては、不安定な海上での厳しい作業条件下で寸法誤差を±3mm以内に収める卓越した技能を有し、他にも多くの難工事を完成させました。現在は、その経験を活かして技能者の育成に尽力されており、社内における教育・研修の企画立案・推進に携わるほか、技能伝承に関する講演等を各地で行っています。これらの実績が評価され、今回の受賞となりました。



表彰を受けた福田さん

第61回 全国溶接技術競技会 表彰式

2015年10月に大阪府で開催された第61回全国溶接技術競技会の表彰式が、2016年6月8日（水）に東京ガーデンパレスで行われました。本競技会には、当社から2名が被覆アーク溶接の部に出場し、八幡支社の小林 和樹さん、大阪事業所の平郡 亘さんが優良賞を受賞しました。

各都道府県を代表する112名の参加選手が被覆アーク溶接、炭酸ガスアーク溶接の2種目で『日本一の溶接士』の称号を競う本競技会は、溶接技術の向上と溶接技能の振興を図り、溶接の重要性を広く啓発するという趣旨のもと、毎年開催されています。今回は2名の入賞者を輩出し、『溶接のTAKADA』を全国に広くPRすることができました。これまで本競技会に出場した選手は、その後も溶接技能の研鑽に努め、当社を代表する溶接の匠へと成長を遂げています。今後も本競技会における当社の溶接士の更なる活躍が期待されます。



表彰を受けた小林さん（左）、平郡さん（右）

2016年 都道府県 溶接技術競技会 成績

当社は、溶接士育成の一環として、1972年の福岡県溶接技術競技会に参加して以来、各都道府県で実施されている溶接技術競技会に参加しています。本年は、京葉事業所の室屋 達也さん（第46回千葉県溶接技術競技会 被覆アーク溶接 平板の部 優勝）と他1名が、各都道府県代表として2016年10月8日（土）～9日（日）に北海道で開催された第62回全国溶接技術競技会に出場しました。